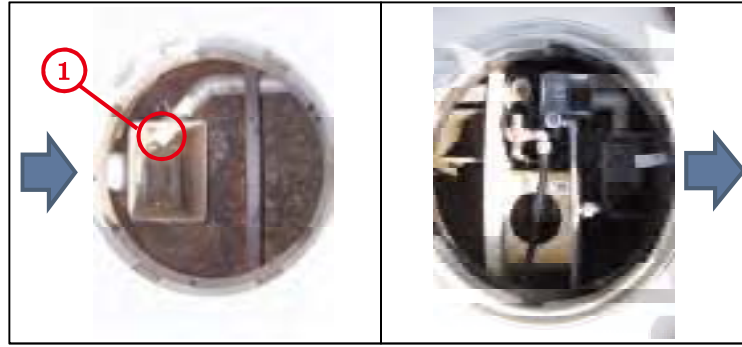


# 性能評価型(事例14) 逆洗回数を減らした事による水質改善事例

## 【槽内状況】



維持管理要領書より 5人槽 逆洗設定1日2回(3時、15時)それぞれ20分間 移送水量7.00/分

事例番号	14		浄化槽メーカー	㈱ダイキアキス		
処理方式	性能評価型 BOD除去型		浄化槽型式	MCP		
法定検査日	平成 24 年 9 月 5 日	人槽	5 人槽	使用人員	4 人	
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽/沈殿槽		
スカム厚(cm)	20	1	—		透視度	12 度
堆積汚泥厚(cm)	18	10	—		DO	2.6 mg/ℓ
透視度(度)	8	8	12		pH	7.1

法定検査からの 状況連絡・指示内容	槽内状況	1次処理流出水透視度 8度 2次処理槽内水透視度 12度 逆洗開始後、移送汚泥の密度が低い。 逆洗は基本設定:1日2回(3時、15時)それぞれ20分間 日平均汚水量 0.97m <sup>3</sup> /日 採水時間10:30				
	対策	移送汚泥の密度が低い為、日中の逆洗を停止し1日1回(3時)に変更する。				
保守点検からの措置 返信内容	9月10日	指示通り調整する。			透視度	13 度
					DO	3.0 mg/ℓ
					pH	7.1
	9月24日	逆洗直後の移送汚泥測定30分後 (41%)			透視度	18 度
				DO	3.2 mg/ℓ	
				pH	7.0	
10月9日	透視度回復する。 逆洗直後の移送汚泥測定30分後 (28%)			透視度	32 度	
				DO	4.1 mg/ℓ	
				pH	7.0	

## 【ポイント】

<p>①</p>		
----------	--	--

逆洗直後の移送汚泥を採り30分経過後の  
状況 47%(密度が低い)